

The Society for 17th-Century English Literature

十七世紀英文学会ニューズレター（2022年度 第1号）

本部事務局 〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1 日本大学工学部 川崎研究室内

会長挨拶

佐々木 和貴

長引くコロナ禍のなか、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて本学会はこうした困難な状況下にもかかわらず、会員の皆様の協力により、着実に活動を展開しております。まず、本年度も三支部の交流の場として、9月18日（日）に全国大会を実施することにいたしました。ただ、対面とするか、昨年度同様にオンラインとするかは、今しばらく感染状況を見た上で連絡を差し上げます。（対面開催に備えて、担当の東京支部には、すでに会場として立正大学を確保していただいております。）なお本年度も、引き続き日曜開催といたしました。こちら、多くの会員の皆様にご参加いただくための新たな試みとして、ご理解いただければ幸いです。

また今年度は、現在編集作業が進んでいる論集第20号『十七世紀英文学における病と癒し』が、秋の全国大会にあわせて刊行予定です。充実した論集になることを確信しつつ、優れた論考を味読できる日を楽しみに待ちたいと思います。

そしてなによりも頼もしいのは、各支部が、あらたなテクノロジーを活用し、例会を継続されていることです。会員の皆さんの17世紀英文学への真摯な取り組みに敬意を表したいと思います。また、こうした危機的な時期だからこそ、学会活動を、地道に、丁寧に、そして大切に継続していくことが、私たちの研究を、さらには生き方を支えてくれるものと信じております。一緒に、前に、進んでまいりましょう。

最後に、コロナおよびウクライナでの戦火の一刻も早い終息、さらには会員の皆様のご無事を祈念して、本年度のご挨拶に代えさせていただきます。

1. ホームページおよびツイッターのお知らせ

当学会のホームページ(HP) は金星堂のご協力のもとに学会 HP 委員が運営・管理しております。

<http://www.kinsei-do.co.jp/S17CEL/>

「会員による新刊情報」や「会員による最新研究情報」などの HP 掲載データは年 2 回更新します。原則として 4 月末に各支部事務局、11 月末にホームページ委員が、掲載データを取りまとめます。研究業績を内外に知らせる良い機会となりますので、最新データの提出にご協力をお願いいたします。

また、学会ツイッター（十七世紀英文学会（公式）@S17CEL）ではホームページよりも早く最新情報を掲載しています。フォローおよび最新情報のご確認を随時お願いいたします。

教員公募情報受け付けおよびツイッター配信のお知らせ

学会ツイッターでは、国公立私立の大学、短大、それに準じる教育・研究機関から当学会に寄せられた英語英文学関係専任職の公募情報を配信しております。情報をお寄せいただいた順に、大学の公募ホームページあるいは研究者人材データベース（JREC-IN）へのリンクを掲載いたします。掲載を希望される場合には、本部事務局宛てにメールにて応募締め切りとともにお知らせください。なお、ウェブサイトへのリンクがない場合は、PDF データを添付ファイルにてお送りください。

2. メールでのお知らせについて

本部事務局から各支部事務局のメーリングリストを通じてお知らせを配信することがあります。支部事務局からのメール連絡が届いていない方は、各支部事務局の担当者にメールにてお知らせください。担当者は本 Newsletter 末尾に記載されております。

3. 編集委員会からのお知らせ——論集 20 巻『十七世紀英文学における病と癒し』についてのご報告（刊行遅延のお詫び）

論集 20 巻は、9 月に開催される 17 世紀英文学会、2022 年度全国大会に合わせての刊行を目指して、

準備を進めております。当初、刊行を予定しておりました日本英文学会に合わせたの刊行から遅延することになりましたこと、深くおわび申し上げます。

論集 20 巻刊行にあたり、次の 3 点について、会員の皆様にご理解をお願いいたします。

1. 執筆者は **5 冊**ご購入のこと。
2. 執筆者以外の会員は、**各人 1 冊**ご購入のこと。所属大学図書館でのご購入も積極的にご検討ください。
3. 金星堂のテキストをできるだけご採用ください。

4. 全国大会・総会について

今年度の全国大会（第 10 回大会）および総会は、2022 年 9 月 18 日（日）に対面により立正大学にて開催予定しております。状況によっては、Zoom による遠隔開催となる場合もあります。詳細は Newsletter 第 2 号、学会ウェブサイト、各支部メーリングリストなどお知らせいたします。ふるってご参加いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

5. 会計報告（速報版）

2021 年度の会計報告を以下に記します。会員の皆様には会費納入へのご協力をお願い申し上げます。

2021 年度（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

収入		支出	
前年度からの繰り越し	78,7378	通信・事務費（封筒・切手・振込手数料）	17,520
会費収入 東北支部	48,000	HP 更新費用	39,600
東京支部	156,000		
関西支部	96,000		
郵便貯金利子	8		
計	1,087,386	計	57,120

次年度繰越金 1,030,266 円 (2022 年 6 月 6 日)

*正式な会計監査付きの資料は総会資料としてあらためて配布いたします。

6. 担 当

- * 本部事務局：川崎 和基
- * 本部会計：相田 明子
- * 東北支部事務局：古河 美喜子
- * 東京支部事務局：松山 響子
- * 関西支部事務局：友田 奈津子
- * 学会ホームページ委員：大久保 友博

十七世紀英文学会規約

(名称)

- 1 本会は十七世紀英文学会と称する。

(目的)

- 2 本会は十七世紀英文学の研究を促進し、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。

(会の活動)

- 3 本会に本部と支部を置く。各支部は年数回の談話会等を開いて会員の発表・報告を聞き、研究情報等を交換する。
 - (2)本部は総会を開いて重要事項を決定すると共に「ニュース」「論集」等の編集刊行をする。なお、「論集」編集規定は別に定める。
 - (3)各支部は相互交流のために、年一回、談話会等に他支部所属会員を招聘することができる。その際には、本部会計より旅費（一律2万円）を補助するものとする。

(会員)

- 4 入会希望者は、各支部または本部に申し込んで会員となることができる。

(会長)

- 5 本会に会長をおく。
 - (2)会長は会員の互選により総会で決定する。
 - (3)会長の任期は2年とする。再任は妨げないが、再任は1回限りとする。

(顧問)

- 6 本会に顧問をおくことがある。
 - (2)顧問は会員の総意により総会において委嘱する。

(組織および会の運営)

- 7 本会は会長の他に次の役員をおく。

本部幹事若干名 支部幹事各2名
編集顧問 編集委員若干名 会計監査2名

- (2)本部幹事は会員の互選により総会で決定し、支部幹事と合議の上で本会の運営にあたる。
- (3)支部幹事は各支部で選出し、本部に報告する。支部幹事は支部の運営の他に本部との連絡にあたる。なお、本部幹事と支部幹事が重複することは差支えない。
- (4)編集顧問は編集委員会が委嘱する。

(5)編集委員は、当分の間、各支部より2名選出するが、東京支部は3名とする。編集委員は編集会議を開き、「ニュース」「論集」等の編集にあたる。

(会計)

8 本学会の経費は会費、寄付金その他の収入をもってこれにあてる。

(2)会費は年額、本部会費3,000円、各支部会費（東京支部500円（学生会員を除く）、関西支部2,000円（学生会員を除く））とし、あわせて支部に納入する。本部会費3,000円は各支部により本部へ送付するものとする。

(3)本部会計の決算報告は翌年度の総会において行なう。

(4)会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

(5)本部会計は本部幹事がこれを統括し、会計監査がこれを監査する。

(規約の発効)

9 本規約は1984年5月12日より発効する。

(規約の改正)

10 本規約は改正の要が生じた時は総会おいてはかる。

1988年5月21日一部改正／1989年5月20日一部改正／1996年5月25日一部改正／2010年5月29日一部改正／
2013年5月24日一部改正／2017年4月1日一部改正／2018年4月1日一部改正／2018年9月8日一部改正